

(公社) 日本分析化学会
高分子分析研究懇談会
会員各位

高分子分析研究懇談会
運営委員長 渡辺 健市

第 386 回例会開催のご案内

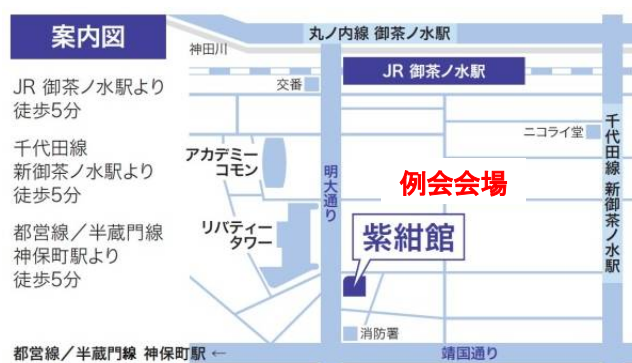
第 386 回例会を下記のように開催致します。万障繰り合わせの上、是非ご出席下さいますようお願い申し上げます。今回は東京都内中心部の交通アクセスの良い場所となっております。非会員の方も 1 回は体験参加が可能です。多くの皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

記

主催 (公社) 日本分析化学会 高分子分析研究懇談会

日時 2017 年 2 月 15 日 (水) 13 時 30 分 ~ 16 時 50 分

場所 明治大学 紫紺館
3F S2, S3, S4 会議室
(電話 03-3296-4727,
JR 御茶ノ水駅から徒歩 5 分)



開会のあいさつ (13:30 ~ 13:35)

(豊田合成) 渡辺 健市

講演 1 (13:35 ~ 14:35)

「DSC と散乱法を用いた高分子の結晶高次構造の分析」

(東京農工大) 齋藤 拓

高分子の結晶ではマイクロメートル次元の球晶からナノメートル次元のラメラに至る複雑な高次構造が形成されている。この高次構造の制御により物性を変えられることから、高分子の高性能化には高次構造の分析が不可欠である。本講では、汎用の DSC と、小角 X 線散乱や小角光散乱で得られる測定結果を組み合わせることで、高分子の結晶高次構造に関して様々な知見が得られることを、ポリオレフィンの部分融解・部分結晶化や熱延伸、ポリウレタンの熱処理、異種高分子のブレンドなどによる高次構造変化の分析結果の例を挙げて論じる。

ワークショップ1 (14:35 ~ 15:05)

「木材の分析」

(タマス) 丹羽 明彦

良質な木材の確保が年々難しくなる中、従来使用していない木種の利用を検討する事があり、その際には木材中の成分の分析を行っている。その一例として、木材アレルギー原因物質を調査した事例を紹介する。

休憩 (15:05 ~ 15:20)

ワークショップ2 (15:20 ~ 15:50)

「SBF-SEM法によるジブロックコポリマーの三次元再構築(仮)」

(日本電子) 山口 祐樹

講演2 (15:50 ~ 16:50)

「電子顕微鏡による高分子界面の解析と接着メカニズム」

(産総研) 堀内 伸

電子顕微鏡は異種界面を解析する手法として有用であり、界面の解析から接着メカニズムに大きなヒントを与えることが可能である。また、接着のメカニズムを明らかにすることは、接着接合の信頼性を保証するためにも必要である。

エネルギーフィルターTEM, STEM□EDX/EELS, トモグラフィ等の電子顕微鏡による高分子界面の構造の解析手法と原理を概説し、高分子/高分子の接着、高分子/金属の接合に関する界面の形成機構と接着発現メカニズムについての研究事例を紹介する。

申込方法 参加希望者は、2/8(水)までに、研究懇談会ホームページ
(<http://www.pacd.jp/index.html>)の「参加申込フォーム」に必要事項をご記入のうえ、お申し込み下さい。

ホームページでの申し込みが困難な場合は、必要事項を記載した電子メールでもお申し込みいただけます。その際、電子メールの件名を「386回例会申込」として下さい。ホームページ、電子メールでの申し込みがいずれも困難な場合は、別紙の参加申込書にご記入のうえ、FAXでお送り下さい。

申込先, 問い合わせ先

帝人(株) 構造解析センター 菅沼 こと

[電話: 042-586-8121, FAX: 042-586-8123, E-mail: pacd-reikai-info@pacd.jp]

高分子分析研究懇談会 第 386 回例会参加申込書
 (2017 年 2 月 15 日 (月) 13 時 30 分～ 於：明治大学 紫紺館 3F S2, S3, S4 会議室)
2/8 (水) までにお申込下さい

FAX : 042-586-8123 (帝人：菅沼)

氏 名	
勤 務 先	
電子メールアドレス	
連 絡 先 (電話/FAX)	
例 会	() 参加する () 参加しない どちらかに○をつけて下さい。
交 流 会	今回は開催しません。
例会での講演, あるいはワーク ショップを引き 受けていただく 場合のテーマを 教えてください。	講演テーマ (60 分) 【 】 ワークショップテーマ (30 分) 【 】
例会における講 演テーマ, 講師 などに関してご 希望・ご意見な どがありましたら お願いします。	◇講演テーマ 【 】 ◇講師 【 】
研究懇談会への ご意見, 連絡事 項など (会員の 変更事項や近況 報告など) あり ましたらお書き ください。	